

中期経営計画

平成28年度～平成30年度



平成28年3月



株式会社 横浜港国際流通センター

Yokohama Port International Cargo Center Co., Ltd.

はじめに

当社は、輸入促進地域(FAZ)の承認を受けた、物流の高度化に対応した施設を建設・運営することで、横浜港の輸入貨物の増加促進を図るとともに、中小の物流関連事業者へも高機能な物流施設の活用機会を提供することを目的に設立されました。

現在は、耐震性にも優れた安全で、輸入貨物の流通加工等にも対応できる高機能複合型物流拠点として、「国際コンテナ戦略港湾」である横浜港の集荷・創貨の重要な役割を担っています。

今後も、横浜港における物流拠点として、より一層の有効活用を図り、横浜港の発展に寄与してまいります。

経営方針

『 自主・自立した安定経営の確立 』

開業20周年（平成28年8月）を迎え、新たな歴史の始まりと捉え、さらなる成長に向けてスタートします。

本計画では、中長期的な視点も踏まえ、次の取り組みを重点項目として推進し、自主・自立した安定経営の確立をめざします。

- 取組Ⅰ - 入居者満足度の最大化
- 取組Ⅱ - 経営の安定
- 取組Ⅲ - 安全・安心 環境にやさしい 魅力ある施設の提供

中期経営目標

単位：百万円

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
売上高	2,156	2,156	2,156
(物流棟入居率)	(97%以上)	(97%以上)	(97%以上)
経常利益	358	319	389
借入金残高	7,677	6,697	5,581

計画の概要

開業20周年を機に、さらなる成長へ向けてスタート

Y-CC

経営方針

自主自立した
安定経営の確立

入居者満足度の最大化

ハード（施設）を活かすソフト（人）の充実

取組Ⅰ

- (1) 省力化・効率化
- (2) 人材の育成
- (3) 入居者・Y-CC・施設管理事業者の連携
- (4) 総合保税地域としての機能強化
- (5) 入居者への迅速・確実な情報提供
- (6) 顧客サービスの向上

取組Ⅱ

経営の安定

- (1) 財政面の強化
- (2) 繰越損失の早期解消
- (3) 借入金の早期返済
- (4) 入居率の維持向上
- (5) 営業の強化

安全・安心 環境にやさしい
魅力ある施設の提供

取組Ⅲ

- (1) 長期修繕計画の着実な実行
- (2) 迅速かつ適切な施設の維持管理
- (3) 入居者の満足度を最大化する魅力ある施設の提供
- (4) 防災対策の強化
- (5) 緑化やLED化等省エネルギー化の推進
- (6) 「国際コンテナ戦略港湾」に対応した物流機能の強化

取組 I

入居者満足度の最大化

ハード（施設）を活かすソフト（人）の充実

(1) 省力化・効率化

新たに導入した請求システムを有効に活用するとともに、物流棟・事務所棟における機器やシステムの更新に当たっては、ハード・ソフト両面から省力化・効率化の見直しを進めます。

(2) 人材の育成（職員研修の充実 ノウハウ、技術の継承）

社内における情報共有を一層進めるとともに、社員間において仕事のノウハウや技術を確実に継承してまいります。また、各種研修へ積極的に参加し、社員の能力開発に努めます。

(3) 入居者・Y-CC・施設管理事業者の連携

日頃から、Y-CCと施設管理事業者は連携を密にし、入居者の要望や苦情を的確に把握するよう努め、迅速かつ適切な対応を図ります。



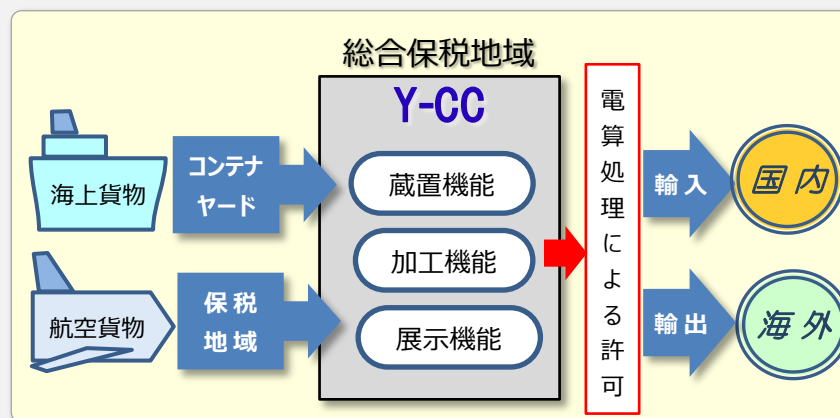
取組 I

入居者満足度の最大化

～ハード（施設）を活かすソフト（人）の充実～

(4) 総合保税地域としての機能強化

総合保税地域としての機能や特色について、広くPRを行い、機能活用の拡大を図ってまいります。



(5) 入居者への迅速・確実な情報提供

日頃から、さまざまな関連情報の収集に努めるとともに、収集した情報は、適時Eメールや電子掲示板等により、迅速かつ確実に入居者に提供できるよう努めます。
特に、災害時には円滑な情報提供ができるよう万全を期してまいります。



(6) 顧客サービスの向上

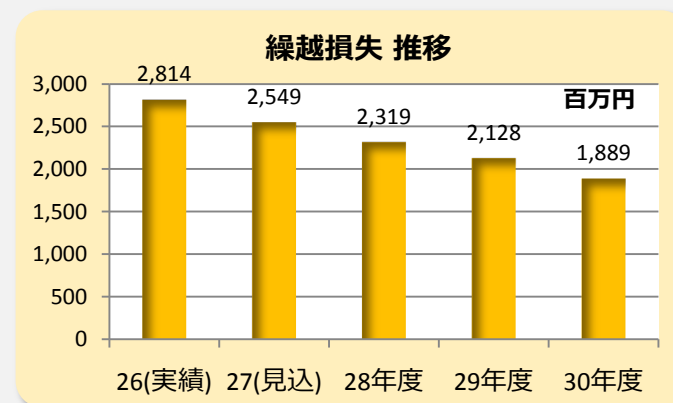
「顧客第一」を合言葉に、社員一人ひとりが入居者に対するサービス向上に努めるとともに、日頃から入居者の要望や苦情の把握に努め、サービス改善に取り組んでまいります。

(1) 財政面の強化

情報の収集、営業の強化等により売り上げのアップに努めるとともに、売上原価や支払利息等の見直しを行うなど、さらなる財政面での強化に努めます。

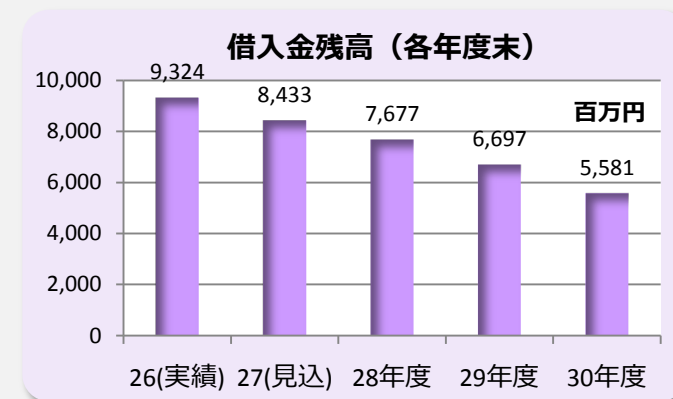
(2) 繰越損失の早期解消

営業利益を継続的に確保し、繰越損失の早期解消に努めます。



(3) 借入金の早期返済

新規借入金の額を必要最小限に抑えるとともに、計画期間終了後の借り入れの解消を図ります。



(4) 入居率の維持向上（物流棟・事務所棟）

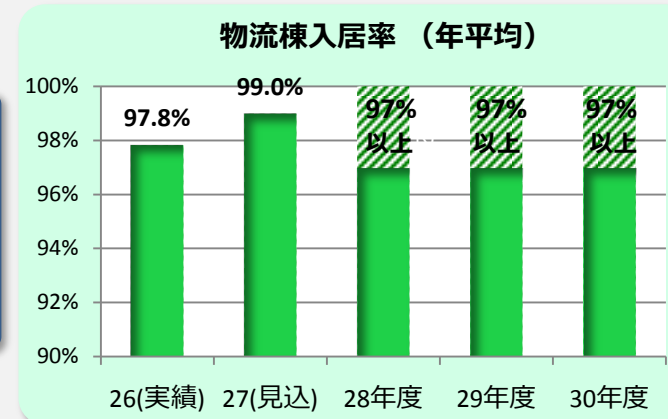
不動産の各種情報をきめ細かく収集するとともに、当施設の最新情報を広くタイムリーに提供し、高入居率の維持及び向上に努めます。



(5) 営業の強化

「物流棟」については、物流不動産の動向、入居者や入居希望者等からの情報をきめ細かく収集し、空き施設が生じないように努めてまいります。

「事務所棟」については、多角的な利用が図られるよう工夫し、空き室を減らすよう努めます。



(1) 長期修繕計画の着実な実行

長期修繕計画に基づき、修繕工事を計画的に行い、入居者に安全・安心で、魅力ある施設を提供します。



(2) 迅速かつ適切な施設の維持管理

日常点検を確実に行うとともに、入居者からの要望等に対して、迅速かつ適切に対応し、施設の維持管理を徹底します。



(3) 入居者の満足度を最大化する魅力ある施設の提供

入居者にとって「働く・集う・憩う」ことのできる、潤いと魅力のあふれる施設として提供できるよう努めます。



(4) 防災対策の強化

災害に強い施設としての整備や、必要な機材等の配置・備蓄を計画的に行うとともに、災害時の対応マニュアルやBCPの整備など、“いざという時”に対応できるよう準備や訓練を行います。



防災資機材



消防訓練

(5) 緑化やLED化等省エネルギー化の推進

現有の緑の管理を適切に行い、保全に努めるとともに、LED化や新エネルギーの導入など省エネルギーを積極的に推進します。



緑化事業



LED化

(6) 「国際コンテナ戦略港湾」に対応した物流機能の強化

「国際コンテナ戦略港湾」の進展に合わせた横浜港の物流機能を担えるよう、機能の高度化を目指した対応を検討してまいります。



コンテナ搬入



株式会社 横浜港国際流通センター

Yokohama Port International Cargo Center Co., Ltd.